



核燃料の開発

—微量ガス分析装置—

Development of Nuclear Fuel
— Microgas Analyzer

わが国における原子力発電もいよいよ実用段階にはいり、昭和44年12月には日本原子力発電株式会社敦賀原子力発電所、昭和45年10月には東京電力株式会社福島原子力発電所などから電力が供給されることになっている。これらの軽水炉には焼結二酸化ウランペレット形燃料を用いるが、原子炉をいっそう安全で高性能にするため、燃料の品質向上にはたゆまざる努力が注がれている。

写真は焼結二酸化ウランを1,700°C以上の高温に加熱したとき発生する微量の気体を定量する装置である。

(日立製作所 日立研究所)